

会報

野々市ロータリークラブ



一歩の前進は学び考え扉を開く

ロータリーは機会の扉を開く

第1975回例会 金沢国際ホテル

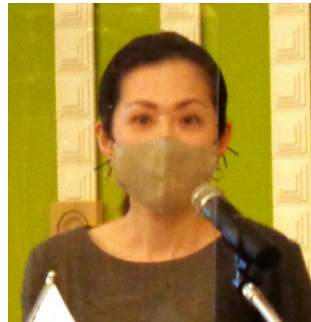
2021年3月17日(水曜日)

卓話

■ 一般社団法人はぐネット代表 高橋美乃梨様

「子どもが真ん中のまちづくり」

みなさんこんにちは。コロナ禍により新しい出会いがここ半年間ほどなかったため、今日この出会いをきっかけにほんの少しでもはぐネットのやっていることに響いてくだされば嬉しいなと思っています。



皆さんどんな大きなことをしているかと思われるかもしれませんが、私は何か大きなことをやっている訳ではなく、ボランティア団体に所属したことから始まり、行政や企業と連携をし色々な活動をし続けて今に至ります。母親当事者として「あったらいいな」と思う事をただただ、目の前の小さな課題としてやり続けているだけです。

はぐネットがどんな団体かという「こどもをまんなかに手をつなごう」を合言葉に子供がいらっしゃるママさん13名で結成されており、野々市市を中心に会員登録制のWEBサイトを立ち上げています。地域のママ同士で子ども服を無料で交換する“CURU∞CURU”や長期休暇にただ単に子供を預かるのではなく色々な体験が出来る“こどもミュージアム”もとても反響があります。このようなことが市に認めていただき、ChoCoという消費者教育を推進する情報誌を作りました。ママたちが学習している過程をのせている雑誌です。全国でもこの様な雑誌がないため、色々な自治体から問い合わせが沢山ありました。そして“こどものまち”というのは仮想のまちをつくり、擬似通貨を使ってお買い物体験ができるというイベントで、子どもにとっての体験型消費者教育です。このように親はC

会長あいさつ

■ 会長 矢原憲雄様

みなさんこんばんは。本日のご来訪者様は高橋美乃梨様です。子供たちの為に色々なイベントを開催して育成に努めているとの事です。当クラブも未来を担う子供をいかに良い方向に導いていくかということで色々な奉仕事業をして参りました。今年はコロナ禍により残念ながらイベントは中止となりましたが、高橋様の行っている方針や催し物が我々と何か共通するものがあるかと思えます。後程の卓話は非常に参考になるかと思えますのでよろしくお願いいたします。



先週の3月11日は東日本大震災から10年目となり、福島第一原発事故の映画がテレビで放映されていきました。門田隆将という方の小説を基に映画が作られたかと思えますが、福島原発で働いていらっしゃる方々が自分たちの命を落としてでも原発を守ろうと努力する姿が描かれています。当時の首相が一般的な論説で判断を下されたのに対し、現場で働く方々は命令に背いてでも自分たちの遂行する役目を果たし、国を守ろうとする姿がありました。何か問題があった時は、後に大きな責任をとることになりますが、覚悟して行動にあたっていたその判断というのは尊重されるべきかと思えます。リーダーシップをとるには現場の意見、社員の意見を十分に聞き入れて判断をすることが必要かと思えます。門田隆将さんの小説「死の淵をみた男」は大変参考になりますので、ぜひ購入されて読んでいただきたいと思えます。



野々市RC会報

第1975回例会 金沢国際ホテル

2021年3月17日(水曜日)

卓話 (つづき)

h o C oで学びをしていく、子どもはイベントを通して消費者体験をするというセットでどんどん事業が展開しています。

色々お話しましたが、ここからは私はとてもくやしい思いをしたこととお話したいと思います。市のある事業で無料の講座があり集客のお手伝いとして参加しました。その際に子供連れOKと記載し募集しましたが、後々アンケートで、「このような学びの場に子供をOKにするなんてどういうことでしょうか」というクレームがありました。無料で市民に提供している講座なのにこのようなクレームがきたことは本当にショックでした。もう一点。夏に子供の遊び場となった場所がありました。その際に、景観重視という考えから、その光景を街の恥だと言われた時は悔しくて何も言えず涙がでました。街というのは何を優先しているのか。それは見ている人それぞれで違うと思います。色々な考えの方はいらっしゃいます。子どもたちだけを大切にしてほしいということではありません。そして、全ての方が同じ方向をみることはできません。たった一日でも、一瞬でもいいので子どもたちの為に同じ方向がみれたらいいなと思っています。そして絶対に間違いないことは子どもや若者たちが私たちの未来をつくるということです。子どもたちは未来です。これだけは絶対に間違いありません。それを信じてこれからもやっていきたいと思っています。

今週のお花

お花 フリージア
花言葉 純潔
原産地 南アメリカ



《お花ご購入者》

齊藤邦博様、里見安那様、田嶋秀之様
宮森恒成様、柳生好春様



【今後の例会プログラム】

- 3/24 会員卓話 北潟克輔様
- 3/31 会長エレクト研修報告
- 4/7 移動例会_石川県立美術館
- 4/14 会員卓話 山口誠様
- 4/21 卓話 特定社会保険労務士
中川 晋作 様



野々市RC会報

第1975回例会 金沢国際ホテル

2021年3月17日(水曜日)

ニコニコボックス

矢原憲雄 一般社団法人はぐネット代表
高橋美乃梨様、御来訪と「子どもが真ん中のまちづくり」の卓話ありがとうございます。
私事ですが、初孫が高校の受験に合格しました。子供が合格した時よりうれしく感じます。

齊藤邦博 高橋美乃梨様ようこそお越しくださいました。卓話ありがとうございます。

松田真一 早退しますm(_ _)m

石澤 康 タイヤ交換の作業が完了しました。いよいよ春です！！

榎本いずみ 高橋様、今日はありがとうございます。

宮森恒成 長女が第1志望金沢桜丘高校に合格しました！

梅野智恵子 高橋さん、本日は卓話ありがとうございます。
「子どもを真ん中に手をつなごう」素敵な理念の元、今後の益々のご活躍をお祈りしています。
よろしければ、野々市ロータリークラブ入会しませんか？

ニコニコボックス (つづき)

里見安那 一般社団法人はぐネット代表
高橋美乃梨様、子どもを中心とした貴重なお話をお聞かせいただきましてありがとうございました。
「目の前の小さな課題をお母さん達とただ行っているだけ」というお言葉が印象に残りました。
地道な継続がイノベーションを起こすという美例をお聞かせいただき、ありがとうございました。

清水良典、松井満、柳川勇人、西村信夫
剛野哲也、大西由紀子

計14件 合計25,000円 (お花代込み)

2020-2021年度累計 1,042,800円

積立寄付金

■米山記念奨学会 特別寄付

榎本いずみ、柳川勇人、中川修一、里見安那

2020-2021年度累計 124,000円

■R財団 年次寄付

矢原憲雄、齊藤邦博、柳川勇人

2020-2021年度累計 90,000円

■R財団 ポリオ

宮川務、柳川勇人

2020-2021年度累計 24,000円

■野々市ロータリークラブ事務局 ■

〒921-8821 石川県野々市市白山町8-15 (公社)野々市市シルバー人材センター2F
TEL(076)294-1232 FAX(076)294-1522 Mail:jimu@nonoichi-rc.jp